

リフィル処方箋の受付実績ある薬局は 32.0%

～リフィル処方箋の応需状況アンケート調査結果～

昨年4月の診療報酬改定において『リフィル処方箋』が導入されました。「患者の利便性向上」、「感染リスクを減らすことにつながる」などといったメリットが紹介されていますが、導入から1年を経過してもその実態は未だよく見えてこないのが実情です。

茨城県保険医協会では県内の調剤薬局に対し、医療機関からのリフィル処方箋応需状況とその内容についてアンケート調査を行いました（調査期間は2023年1/5～1/31）。

その結果、茨城県内でリフィル処方箋の受付実績がある薬局は32.0%であり、処方箋全体に占めるリフィル処方箋受付割合は0.08%（受付回数は771回）でした。

リフィル処方箋を発行する割合は診療所（25.0%）より病院の方が多く（44.8%）、診療科としては、内科、外科、整形外科、耳鼻咽喉科の順に多い状況となっています。また、リフィル処方箋による主な処方内容は甲状腺ホルモン薬が40.9%と高い割合を占めています。

調査結果詳細は下記ご参照ください。

【調査方法】

実施期間：2023年1月5日（木）～1月31日（火）

実施方法：県内調剤薬局宛にFAXで調査用紙を送信

※ファックス送信数：1066件

回答数：1066件に対し357件回答（33.5%）

【調査結果】

①回答施設区分（※回答数352）

門前薬局	84.7% (298/352)
調剤併設型ドラッグストア	9.9% (35/352)
その他	5.4% (19/352)

②リフィル処方箋の応需実績（※回答数357）

有り	32.0% (114/357)
無し	68.0% (243/357)

③リフィル処方箋の受け付け割合

（※リフィル処方箋の応需実績「有り」114施設の総計より）

0.08%	（リフィル処方箋受付回数771回 / 総回数878,728回）
-------	---------------------------------

④病院と診療所からのリフィル処方箋発行傾向

（※リフィル処方箋の応需実績「有り」114施設の傾向）

病院から	45.6% (52/114)
診療所から	25.4% (29/114)
病院・診療所の割合は同程度	4.4% (5/114)
わからない	24.6% (28/114)

⑤リフィル処方箋の発行が多い科

（※リフィル処方箋の応需実績「有り」114施設の状況、複数回答）

内科	47.3% (62/131)
外科	19.1% (25/131)
整形外科	9.9% (13/131)
耳鼻咽喉科	4.6% (6/131)

⑥リフィル処方箋の主な処方内容

（※リフィル処方箋の応需実績「有り」114施設の状況、複数回答）

甲状腺ホルモン薬	40.9% (47/115)
降圧薬	20.0% (23/115)
抗アレルギー薬	9.6% (11/115)
脂質異常症治療薬	7.8% (9/115)

⑦リフィル処方箋の発行理由

（※リフィル処方箋の応需実績「有り」114施設の状況）

患者要望	39.5% (45/114)
医療機関からの提案	60.5% (69/114)

⑧リフィル処方箋に関する患者からの相談（※回答数346）

有り	12.4% (43/346)
無し	87.6% (303/346)

⑨リフィル処方箋に対する意見

- ・医師が診察の回数を減らすことに慎重になっています。
- ・医師が症状等を確かめなくて本当に患者のためになるのでしょうか。病院が確認したところ、患者の希望で仕方なくとの回答でした。リフィル処方箋の利点がわかりません。リフィル処方箋が必要とは思えません。
- ・医師がリフィルの必要性、利便性を感じていないように思います。

(2面からのつづき)

- ・Dr側にリフィル処方箋発行の点数的なメリットがないとなかなか進まないと思います。
- ・地元の医師会とのリフィルに対する捉え方・考え方の乖離がみられる。
- ・実際には医療機関の減収になるのでなかなか進まないと思う。
- ・メリットがあまり感じられない。病院側は消極的。
- ・処方元の問題だと思います。増えるかどうかは。
- ・病院側としてリフィルにするメリットがない（点数上）ので、そこを少し改善しないと流行しないとと思います。
- ・病院など処方箋発行元のメリットが増えないとリフィル処方数は増えないと思います。
- ・メリットが解りにくい。
- ・Drからの処方箋がリフィル不可とチェックの入っているものが多い。
- ・医療機関のメリットが少ないので増加しないと思いました。
- ・病院が導入していかないと進まない。
- ・医師の診察なく薬をもらえるのは簡便で良いだろうが、安全性をないがしろにすることは良いことなのか疑問に思う。
- ・処方する医師にほぼメリットがない制度なので今後もリフィル処方が増えるとは思えない。
- ・小児が多いこともあり、Drもこれをだすことはないということです。あまり必要性が感じられません。
- ・大学病院、総合病院ならリフィル処方箋の需要はあると思いますが、個人の医院、クリニックでは収入減にもなってしまうので、難しいかと思います。
- ・「リフィル可」を消している処方箋が多い。
- ・リフィル処方30日分を3回にすると、90日分で処方するので、特に違いを感じられないです。
- ・例えば90日処方の処方箋とリフィル処方の30日分×3回だと、90日処方箋1回受付で良いと思います。リフィル処方箋にすべき処方がよく分からないです。
- ・長期処方でも90日以上より、リフィル処方をもっと活用して欲しい。残薬など減らせると思う。
- ・処方箋紛失によるトラブルが考えられ、1回目、2回目に調剤を行った薬局に原本が残らない。そのあたりをクリアにしてほしい。
- ・門前の病院以外に県南エリアの基幹病院の処方も受付しておりますが、県南エリアではリフィル処方箋の普及は進んでいないと感じられます。
- ・使い方さえ間違わなければ、いいシステムだと考えています。
- ・リフィルの記載が小さくて見逃しそうになるので、一目見て分かるようにしてほしい。

- ・全く浸透してないと感じます。当薬局でも対応している方は利便性が高いので、もう元には戻れないと言っていました。ある程度まともな方じゃないと運用においてトラブルが起きるだろうなと思います。
- ・病院として導入していない状況のため、認識はしているが特別準備はしていない。
- ・現在医薬品の出荷調整が多いため、長期処方でもだされてしまうと、薬の確保が非常に厳しいです。そういう場合はリフィル処方箋を活用していただくと薬局側も多少、助かる部分があるのではないかと思います。
- ・PTに周知不足だと思います。
- ・Drからみて、リフィル処方箋を出したことで薬局の勝手際があれば教えてください。
- ・胃腸科門前なので、リフィルにすることが難しいのではないかと思います。他のリフィルに関してもDrとの密な連携が必要であり、何かルール化した方がいいのかなと思います。
- ・リフィル処方箋なのか、わかりづらいです。もっとはっきり、リフィルと記入してほしい。
- ・リフィル可の文字が小さいと見逃してしまうので大きく記載してほしい。
- ・まだ処方箋を失くした方はいないが失くした場合理解してくれるか？
- ・処方医側の意識がまだあまり上がってはいないと思います。
- ・門前の薬局としては離患につながるため心苦しいが、患者様のメリットは多くあり、進んでいく方向に向かうようパンフレットやチラシがあると患者様への理解も進むと思う。
- ・実際にどの位リフィル処方箋が運用されているか知りたい。
- ・点眼薬等日数計算のむずかしいものは今後どうなるでしょうか。
- ・医師からの処方がないため、患者さまがリフィルについて知らないケースが多いと感じます。早く浸透してくれると良いと思います。
- ・まだまだ医師も患者さんもリフィル処方への理解が不十分だと思います。
- ・患者様にリフィル処方について詳しい説明が必要と思う。
- ・リフィル処方箋が来ても、調剤・事務処理をスムーズにできない。患者さんが忘れずに2回目以降来局されるか心配。
- ・門前薬局ではリフィル処方箋が増えると受付が減少する可能性があり、不安はある。リフィル処方箋が増えることは患者の選択肢を増やすことにつながり、良いことだと思う。
- ・小さなところ（病院）では難しいと思われます。
- ・リフィル可の医療機関がないため実績なし。
- ・一般に広がるまでは少し時間がかかるようです。少しずつ周知する必要があります。
- ・安易にリフィル処方箋は発行すべきではないと考えています。

以上